



学塾通信 11 月号（第 155 回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

11 月 3 日(月・祝)・24 日(月・祝) は授業実施日です。

中学入試の統一日・大学入試の共通テストまであと 100 日を切ります。受験生も保護者様も受験までのカウントダウンが始まると、不安や焦りが出てくるでしょう。不安を打ち消すために、受験までの計画をしっかりと立てて色々なケースを踏まえて出願校の方針を考えていきましょう。

各教科の問題では、定番の問題やよく出るパターンの問題を反射的に解けるようにすること、それができるようになった上で応用問題も試行錯誤をしながら、答えを導けるようになりましょう。出題された問題を見て、どこかで解いたことがあると思う問題が増えてきたら、しっかり勉強ができていているという証拠です。頑張っ取組んでいても、点数や偏差値で目に見える成果が出ないと不安になる人もいるかもしれません。試験を受けた時にまったく解き方がわからなくても、途中のプロセスまでわかっているても不正解です。日ごろの取り組みを頑張っているのにまだ得点に結びついてない人は、もう少しで得点になるところまで来ているという場合があります。毎日の取り組みを計画的に頑張れているのであれば、信じて続けていくだけです。

やるべきことを継続して取り組めば必ずできるようになります。

入試までの残りの期間、これまで以上に真剣に受験勉強に向き合ってください。「ちょっとできるようになってるやん」と感じる瞬間がくれば、そこから先はどんどん伸びるでしょう。

塾生一人ひとりを見ていると、全員にまだまだ伸びる余地があると感じています。例外なく「全員」です。わからなかった問題・できなかった問題に向き合ってきちんとやり直しをすること。できなかった問題を「悔しい」「できるようになりたい」と思い、正解を追求すること。合格通知をもらうまで絶対にやり切るという強い気持ちで取り組んで欲しいと思います。

現時点で志望校に向けて順調に進んでいる人は、その調子でいきましょう。ボーダーライン上や目指す先がもう少しある人は、自分より学力が高い人の取り組みについていきましょう。自主学習の際は近くに座り、同じように取り組むことです。問題を解く速さ、集中力など自分との違いを感じるはずですが、その人についていくような頑張りをする中で、普段より得るものが多い自習になります。まだまだここからです。学塾 13 期生のみなさん、頑張りましょう！！



合格率を上げる方法
入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

○保護者面談について(随時受け付けています。)

面談を希望される方は info@gakujiyuku.com 宛にご連絡をお願いします。日程調整をします。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

教室への連絡は、一斉配信のメールアドレス宛に用件を送っていただいても教室には届きません。

お手数ですが info@gakujiyuku.com 宛をお願いします。

メール確認後は、当日ないし翌日までには返信しています。教室からの返信が無い場合は、一斉配信宛に届いている可能性があります。一度ご確認をお願いします。アプリから連絡をいただく際には「塾長 送信可」宛に送って下さい。

2026 年 3 月以降はメールでの一斉連絡を終了し、すべてアプリからの連絡とさせていただきます。この教室通信も紙での配布を終了とさせていただきます。テスト前学習会等の申込みもアプリのアンケートから申し込みをしていただくことになります。まだアプリを使っていない方は移行準備をお願いします。

☆小学生☆

中学受験生・高校受験生を見ていると、初見の問題を「わからない」と認識する人と、見たことが無い問題でも「答えを出す方針は何だろう」と考えられる人に分かれます。前者はよく出るような問題をパターンとして処理をすることで定期テストで 5 教科(英数国理社)合計 400 点ぐらいまでは取ることができますが、そこで頭打ちをします。

小学生の間に基礎学力(計算・漢字・英単語など)を身につけつつ、パズルなどで楽しみながら考える力を養っていきましょう。

先月は谷川俊太郎さんの詩を紹介し、活字に触れる機会を作ろうという話をしました。

今月は読み方について伝えます。

テストや受験での国語の読解問題は時間内に解かなくてははいけません。

しかし、小学生のみなさんや文章を読みなれていない中学生のみなさんにはそこに至るまでの過程として丁寧に文章を読むことから始めることを勧めます。文学は芸術の一分野です。無駄な文章はありません。そして、登場人物の様子や感情を単純な言葉ではなく、考え抜かれた表現で表すことが作者の腕の見せ所です。それを読み取ることを意識して本を読んで下さい。

公立中学の 3 年生は夏目漱石の「坊ちゃん」を授業で扱っています。この作品の文章を例に挙げて具体的に説明をします。

「行きも帰りも、汽車に乗って歩いて」 という表現はいつもそうしていることを
「空の底が突き抜けたような天気」 ~のような(直喩)という表現で天気の様子を
「自分の鼻は落ちるかもしれない。隣の頭はそがれるかもしれない」は危険な様子を具体的に表現しています。

このように工夫された表現がたくさんあり、文章ひとつで登場人物の人物像が浮かんでくるような書き方が秀逸です。

それをひとつずつ感じながら読むということを意識して、小説を読んでみましょう。

中学生の教科書は清が駅で坊ちゃんを見送るシーンで終わっていますが、そこから先が面白いので興味がある人は読んでみてください。

○宿題について

塾の宿題が不十分なまま授業に来ている人が目立ちます。中学生同様、不十分な場合は授業後に取り組むように伝えています。「授業後に残ってやれば良い」ということではありません。自宅で宿題に取り組む時間が取れないようであれば、宿題をするために学塾に来る日を作るというのもひとつの方法です。

○自主学習について

9月15日(月・祝) 小学生の参加を見込み朝から自習開講をしてみました。思っていたような参加人数ではありませんでした。受験をしない小学生は、入試やテストなど差し迫った目標が無いため開講時間帯を変えたとしても自主学習への参加は少ないのでは、という声がありました。実際に開けてみるとその通りでした。私たちとしてもハロウィンイベントのような、小学生も行ってみたいと思える工夫をする必要があることを改めて認識しました。

☆中学受験生☆

6年生は9月より過去問に取り組み始め、入試100日を切り、いよいよ仕上げの時期に入ってきました。過去問で合格点に届いていない人は、引き続き解くことができる問題を増やしていきましょう。合格点を取ることができている人も、あと1点でも2点でもプラスできるように頑張ってください。

問題の経験を積んで、自分の引き出しを増やしていくことだけです。

模試の特別回は受験校で受けることができます。会場へは入試当日と同じ路線で行くのが良いでしょう。乗る電車の車両は出口までの歩数が極力少なくなるような場所を選んでおくこと。入試は冬の寒い時期に行われます。空調の風の当たり具合を確認しておきましょう。机の大きさや時計の位置、お手洗いの場所なども自分の目でチェックし入試当日を疑似体験してください。

○模試について(小学6年生・5年生)

特別回 五ツ木模試 10月26日(日) 必須回です。

模試の判定の良し悪しはありますが、受験に向かう姿勢や取り組み方は素晴らしいです。

最後までこの頑張りを続けていきましょう。保護者の皆様もお子様への励ましをよろしくお願いいたします。

☆中学 1・2 年生☆

○中学 1 年生

1 学期から伝えてきた、大切な 2 学期です。中間テストの結果はどうでしたか？1 学期と同じ取り組みでは 5 科－20 点が標準的な着地点となることを以前から伝えていました。納得できる結果だった人は期末テストでも引き続き頑張りましょう。思ったような結果が出ていない人は、取り組み方から見直していきましょう。点数を取ることができていない人の多くは、学習時間が十分でないことや物事の優先順位を間違えていることが考えられます。期末テストでは取り返すことができるように、日ごろから学習時間を取るようにして下さい。

○中学 2 年生

中学生生活も折り返しとなり、進路のことも考える時期になってきました。

一番に優先すべきことは日々の学校の授業を大切に「定期テストで目標点を取ることに」

それができれば次は「課題テスト・模試で目標点を取ることに」です。

そして、最後に「入試問題で合格点を取ることに」です。3 段登った先に中学卒業後の進学先が待っています。

ほとんどの人がまだ 1 段目を登る段階です。

また、中学 3 年生になると、中学 2 年生より取り組むことが多くなります。

✓英数の受講が必須になります。(現在 1 教科受講の方も 2025 年 3 月からは 2 教科になります。)

✓長期休暇中の講習会が必須になります。(中学 3 年生になる前の春休みから)

✓月 1 回の塾長講座があります。

✓定期テストで 5 教科 400 点未満の人は毎週のミニテストが課されます。

✓受講科目以外のテキストを購入していただきます。(英数理社・漢字・単語)

✓9 月以降の模試が必須になります。

新中学 3 年生には中学 3 年時の指導について塾としての指導方針を書面で確認していただき、同意書を提出していただきます。

生徒と講師が想いを共にして、大切な 1 年間で過ごせる環境にしていきたいです。

今のレベルで行くことができる学校から選択するという考えではなく、どこでも選ぶことができるのであればどの学校に行きたいか、という考えで学校選びを進めて下さい。まだ本格的な勉強を始めているわけではありません。目標が見つかることによって走り始めることができる人もいます。

お子様を応援するスタンスで接してあげて下さい。

☆高校受験生☆

模擬試験を受けた後、すぐにやり直しをすることができていました。これはとても良いことだと思います。良くて人は引き続きその調子で進めて下さい。普段の定期テストで 400 点あたりの点数を取っている人が模試で解くことができない問題は、初見の問題が多いようです。日頃からコツコツと努力ができているため、学校のワークや教科書に出てくるような問題は解けていました。あとひとつ上のレベルにいくための問題を解いていくことが必要になります。何よりも大切なものは自主学習の時間です。レベルアップのために必要な問題を選んで対策を進めていきましょう。

模試が手も足も出なかった人は、模試を解くことができるレベルに達していない状況です。全体的な勉強をするより、単元を絞って取り組みましょう。具体的には「大問の1と関数の問題はしっかりとることができるようにしよう。」「歴史の古代から中世の問題はできるようにしよう。」など目的を持って対策をしていきましょう。

私立高校入試まであと4ヶ月、何よりも受験勉強を優先する時期です。

学校帰りに塾に寄り勉強をすること、土日は5時間以上を目安に受験勉強に励むことを意識して下さい。11月の実力テストは中学校の進路指導の指標になります。平均点との差が重要になるため、各教科の学年平均点がわかれば教えて下さい。

○中3 第7回 塾長講座について

2025年11月8日(土) 13時30分～19時00分

学校説明会や部活動などでの遅参は認めています。

○模擬テストについて

第6回 五ツ木模試 11月9日(日) 必須回です。

☆大学受験生☆

高校2年生の人をお願いします。学校行事等、事前に把握している予定は前もって連絡をお願いします。他の学年に比べて学校行事が理由での当日欠席が多いです。計画性の無さは学習に対する取り組みにも反映されます。高校生ですので、あまり細々としたことは言いたくありません。ただ、先月は体育大会や文化祭が理由での欠席連絡が当日の朝や授業直前にあったため、この場で共有しておきます。学校生活を楽しんでいることは嬉しいですが、日々の学習や日常生活のことをしっかりできるようにして下さい。

高校3年生のみなさんは学校推薦型の試験が始まっています。無事合格をすることができれば卒業後の進路も決まります。結果が出るまでは、一般入試を受けると思い継続して勉強をするようにして下さい。今年の受験生もふたりとも小学生・中学生から学塾に通ってくれています。進路が決まれば学塾も卒業ということになります。

○合格速報

桃山学院大学 ビジネスデザイン学部

中学・高校と学塾で頑張ってくれました。平野区の摂陽中出身で遠くから学塾まで約5年間通ってくれてありがとう。中学3年生のときには留学ができる学校をということで、夕陽丘の国際という道に進みましたが、将来は経営者になりたいとビジネスを学ぶことができる進学先を考えました。高校3年間の経験を通してまた新たな道を見つけました。これからの4年間、しっかり学んで夢の実現に向けて頑張ってください。

これからも応援しています。

2025年度 塾生募集について

お友達紹介キャンペーン

紹介された方 入会金無料・紹介者 3000円分のクオカード

【高校生】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了
【高校受験 中1】	募集終了 キャンセル待ち2名
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	若干名
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com>

【X】 <https://x.com/gakujoyukuhorie>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>